

# 美の刻印 ～過去・現在・未来を紡ぐアート展～

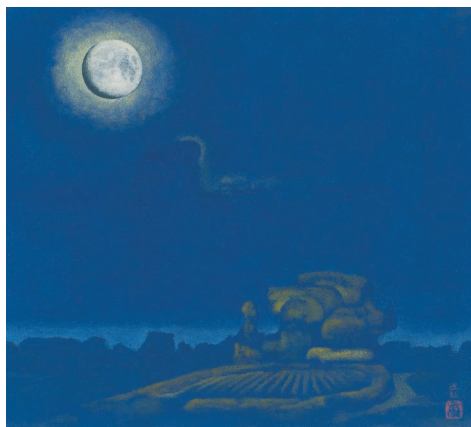
さまざまなジャンルの名品がGINZA SIXに大集結！



マルク・シャガール クロエの着衣 34.4×25cm  
パステル、グアッシュ 「ダフニスとクロエ」シリーズ原画  
コミッテ シャガール鑑定書付



アンリ・ルソー ダム(Salon des Independants 出品作)  
37.7×46.2cm 油彩、キャンバス 1891-1893年  
日動画廊シール・鑑定書付



高山辰雄 穹 10号S 紙本  
共シール・東京国立近代美術館収蔵作品



藤田嗣治 二人の少年 34.1×26.1cm  
エッチング、ドライポイント、アクアチント  
「小児銅版画集」より

2月1日から12日まで、東京中央区GINZA SIXにおいて「美の刻印 ～過去・現在・未来を紡ぐアート展～」と銘打った展覧会が開催される(内覧会は1月31日)。会場は同館6階の「銀座 蔦屋書店GINZA ATRIUM」文字通り、過去から現在にいたるさまざまなアートの名品が一堂に展示される予定だ。

2017年にオープンしたGINZA SIXが、館内のさまざまな場所にアートを配置し、訪れる人々に刺激や癒しを提供する場として注目される複合型商業施設。また、アート、デザイン、建築、ファッション、料理、写真などのジャンルに特化した選書の特徴とする「銀座 蔦屋書店」は、カフェやギャラリーを店内に配置し、従来の書店のイメージを超えた未来型の商業スペースを展開。そのテイストはギャラリー・スペースにも及び、画廊特有の(敷居の高さ)を感じさせない開かれた空間と先鋭的なアートが、文化や芸術に関心のある人々に支持されている。

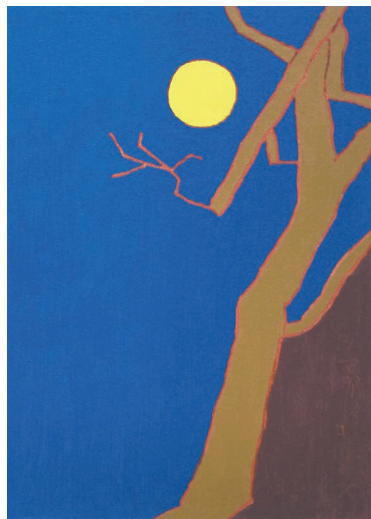
そして、こうしたコアな美術ファンのために準備されたのが、「美の刻印」展だ。海外の著名画家、近現代の日本画・洋画、そして最先端の現代アート…。ラインナップを見る限り、これだけGINZA ATRIUM



バンクシー Flying Copper×100 70cm  
スクリーン・プリント



梅原龍三郎 薔薇図 44×30.4cm デトランプ



熊谷守一 夜の月 33.0×23.8cm  
シルクスクリーン

### 「協同組合 美術商交友会」とは？

2003年(平成15)10月に国の認可団体として事業協同組合設立を認可された美術商による組織。同年12月に第1回交換会(会員制ディーラーズオークション)を開催し、今日に至る。現在の会員画廊は69画廊で、毎月中旬に銀座のホテルで交換会を開催。美術商相互の情報交換、美術品の相互取引など共同事業の実施や、美術品を扱う者としての自覚と責任感を高め、美術商の社会的・経済的地位の向上を図ることを目的としている。

2008年には政策提言委員会を立ち上げ、美術品を償却資産として償却金額のアップを目指す素案をまとめるなど、その後の税法改正に寄与。比較的若い世代のアートディーラーが会の中核を担っていることも特徴の一つ。

<https://art-koyukai.com/>



ミズテツオ HAMLET15S 油彩

### 美の刻印

～過去・現在・未来を紡ぐアート展～

会期 2月1日(土)～12日(水)

会期中無休

11時～20時

※内覧会は1月31日(金)の18時～20時

会場 GINZA SIX 6階

「銀座 蔦屋書店 GINZA ATRIUM」

電話03(3575)7755(直通)

<https://store.tsite.jp/ginza/>

が紹介してきた先鋭的でファッショナブルなアートとは異なり、美術史の流れや資産性、あるいはインバウンドへのアプローチをより強く意識させる内容になっている。同会場を軸に考えれば「逆に斬新な企画」とも言えるだろう。

この初の試みに協力したのは、「協同組合 美術商交友会」という組織。現在69画廊の会員がある美術商の団体だが、交換会(アートディーラー間のオークション)を行うだけでなく、広く美術界の発展に寄与するための動きも同時に行っている。こうした組織は、一般に知られることはなかったが、美術品を扱うプロの審美眼を育む場であることは確か。プロの眼にかなった名品が並ぶ同展「銀座蔦屋書店」と「美術商交友会」のコラボがどのような反響を呼ぶのか、大いに期待したいところだ。

(編集部)